

< カレンダーベース市中発行額 >

(別紙1 - 1)

区分	20年度(当初) (a)				20年度(8月変更後) (b)				(b) - (a)
40年債	0.2兆円	×	2回	(5、11月) 0.4兆円	0.2兆円	×	2回	(5、11月) 0.4兆円	-
30年債	0.6兆円	×	4回	(4、7、10、1月) 2.4兆円	0.6兆円	×	4回	(4、7、10、1月) 2.4兆円	-
20年債	0.8兆円	×	12回	9.6兆円	0.8兆円	×	12回	9.6兆円	-
10年債	1.9兆円	×	12回	22.8兆円	1.9兆円	×	12回	22.8兆円	-
5年債	1.9兆円	×	12回	22.8兆円	1.9兆円	×	12回	22.8兆円	-
2年債	1.7兆円	×	12回	20.4兆円	1.7兆円	×	6回	(4～9月) 21.0兆円	+ 0.6兆円
					1.8兆円	×	6回	(10～3月)	
1年 割引短期国債	1.4兆円	×	12回	16.8兆円	1.4兆円	×	6回	(4～9月) 17.4兆円	+ 0.6兆円
					1.5兆円	×	6回	(10～3月)	
6ヶ月 割引短期国債				3.3兆円				3.3兆円	-
15年変動利付債	0.6兆円	×	4回	(5、8、11、2月) 2.4兆円	0.6兆円	×	2回	(5、11月) 1.2兆円	▲ 1.2兆円
10年物価連動債	0.5兆円	×	6回	(4、6、8、10、12、2月) 3.0兆円	0.5兆円	×	6回	(4、6、8、10、12、2月) 3.0兆円	-
流動性供給入札	0.1兆円	×	12回	1.2兆円	0.1兆円	×	12回	1.2兆円	-
計	105.1兆円				105.1兆円				-

(注1) 上記に加えて、40年債、30年債、20年債、10年債、5年債、2年債、15年変動利付債及び10年物価連動債については、価格(利回り)競争入札後に実施される国債市場特別参加者向けの第 非価格競争入札による発行が行われる(価格競争入札及び第 非価格競争入札又は利回り競争入札における各国債市場特別参加者の落札額の10%を上限)。

(注2) カレンダーベース市中発行額とは、あらかじめ定期的に額を定めた入札により発行する国債の、4月から翌年3月までの発行予定額の総額をいう。

(注3) 平成20年度中に割引短期国債と政府短期証券の統合発行を行う予定であるため、6ヶ月割引短期国債については総額のみを計上。